

北区 山本 のりかず議員 ▶▶▶▶ 子育て家庭局



5歳児健康診査について

山本 神戸市の乳幼児健康診査は、健全育成と疾病及び障害の早期発見・療育を図るため、生後4か月、9か月、1歳6か月、3歳の各時期に健康診査を実施しています。2024年10月からは、出生後27日を超え生後6週に達しない乳児を対象に、1か月児健康診査の費用助成を新たに開始すると伺っています。2024年7月からは、5歳児健康診査のあり方を検討するため、母子保健事業検討委員会を複数回開催し、実施方式や健診後フォローアップ体制について検討を行うと伺っています。5歳児健康診査の早期実施に向けて取り組むとともに今後の進め方について確認します。

子育て家庭局 ▶ 検討委員会の議論内容を踏まえ、健診内容や開始時期について、議論を進めていきたいと思ひます。

令和5年度決算特別委員会

局別審査

所属議員が各担当部局に分かれて令和5年度決算について質疑しました。

市政へのご意見・ご相談は各区所属議員にお問い合わせください。

お問い合わせはこちら▶



兵庫区 岩谷 しげなり議員 ▶▶▶▶ 建設局



自然を活かした住民目線の街づくりを

岩谷 都心部における緑化施策が進められています。例えば兵庫区の大開通りは緑が少ないです。今後は兵庫駅前の開発も進んでいくことから、(自然環境が持つ機能を賢く利用する)グリーンインフラを活かして安全で快適な街づくりを積極的に推進していくべきと考えます。

建設局 ▶ 兵庫区の大開通りは、木の植樹の必要性は高いと考えております。良好な景観形成や気温上昇の抑制といった、緑を生かした安全で快適な街づくりの推進は、持続可能な街づくりに必須の条件だと考えています。

岩谷 住民と密着した(緑化)整備方針を、お願いしたいと思ひます。

西区 高橋 としえ議員 ▶▶▶▶ 福祉局



見守りシール導入について

高橋 認知症神戸モデル第3期を迎えるに当たり、全市でQRコード読み取り方式の見守りシールの導入を検討しているとの事、導入の狙いについて伺います。

福祉局 ▶ 事前登録者に対してシールを交付、衣服等に貼り付けて、行く方不明時の身元確認につながる見守りシールを導入を検討しています。発見者がシールのQRコードを読み取り自治体や警察等の連絡先が表示されるその連絡先に電話をして頂き、シールに記載の登録番号を伝えていただく事で、迅速な身元確認、保護につながる仕組みです。

要望 認知症ご本人とその家族が生活していく上での不安を取り除くというのは非常に重要な課題であります。認知症の診断直後や初期の方は、介護保険サービスの対象になりにくい場合もあります。認知症やMCIと診断された方やその家族に診断後の支援の拡充をもとめます。

注釈)MCI：軽度認知障害

西区 黒田 武志議員 ▶▶▶▶ 都市局



西神中央駅前の土地活用について

黒田 西神のプレティ北館は将来、宅地として利用される予定と聞いています。西区役所前に位置し、駅周辺に残る貴重な一等地であることから、住宅用地に限定して利用するのは非常にもったいない。日々の生活を支える施設、また職住近接のオフィス、その他、地域住民から必要とされる機能など宅地利用だけではなく、地域ニーズを踏まえた複合的な土地活用を検討していただきたい。

都市局 ▶ より一層、若者世帯を呼び込んでいくためには民間の賃貸住宅をさらに増やしていく事が必要と考えています。事業の具体化に当たっては、西神センタービル北館と同様に御指滴のような地域が期待するようなサービス機能を複合的に取り入れた住宅の事業化について、民間事業者の意見を聞きながら、その可能性を探ってまいります。

長田区 ながさわ 淳一議員 ▶▶▶▶ 建築住宅局



高齢年マンション管理の適正化について

ながさわ 人口減少を見据えて高齢年マンション管理において、修繕積立金の問題が、いずれは解体工事費の積立金問題に移行します。解体工事費が準備できなければ、代執行など行政による危険回避措置やマンションの解体を行わざるを得ません。多額の公費を費やすこととなり、未然に防止するためには、早い段階から対応を進めていくことが財政負担のリスク軽減につながります。

建築住宅局 ▶ 他都市におきましては、管理不全マンションの解体が進まず、行政代執行による行政負担が生じているという事例もござります。将来を見据えて、早い段階から適正なマンション管理についての普及啓発に取り組み、管理不全マンションの予防や、適正管理化に努めることが重要であると認識しています。

灘区 川口 まさる議員 ▶▶▶▶ 行財政局



行財政改革方針2025について

川口 職員意識調査において、「業務量の削減を心がけている」と回答した職員の割合は、令和3年度63.3%、令和4年度62.5%、令和5年度57.1%と、年々低下傾向にあります。業務量の削減は行財政改革の基礎となるもので、改革目標達成に向けて、この傾向を転換するような強力な取組が必要だと思ひますが、いかがでしょうか。

行財政局 ▶ 指摘の通り、令和5年度に実施した職員意識調査の中では、5.4ポイント減少するという事態を招いています。職員1人1人が当事者意識を高く持つことが大事で、各職員所属が主体的に業務改革に取り組むことが今後の行政運営において最重要な要素だと思ひっており、この取組を強化していく必要があるだろうと考えています。

垂水区 さとう まちこ議員 ▶▶▶▶ 教育委員会



自由進度学習について

さとう 加賀市においては知識注入型の授業から脱却し、自分で考え、動く、生み出す、そして社会を変える、そんな子どもを育てようというスローガンの下、大きな教育改革が進んでいます。人事異動等によって内容や方針が途切れないよう、モデル校を設置せず、教育格差が起こらないよう一斉を導入を進めました。一斉授業についていけない、苦しい子に重点的に支援が行く自由進度学習を本市も一斉を導入し根本的な教育改革をすべきです。

教育委員会 ▶ 自分で考え行動できる教育を進めていくことは重要なことです。モデル校を支援しながら研究をしていきます。一斉を導入しないというわけではなく、神戸市でもできるだけの多くの学校が取り入れられるように努めてまいります。

垂水区 原 直樹議員 ▶▶▶▶ 環境局



ブルーカーボンについて

原 垂水区にある塩屋海岸は令和4年から漁業者や企業が協力して、地元の小学生とアマモを植栽する活動をされていますが、今後どのように支援していくのか、見解をお聞かせ願ひます。

環境局 ▶ 塩屋浜はアマモが生育する数少ない場所であり、ここで環境教育を進めることは意義深く、より多くの子供たちが自然に触れて、環境を大切にすることを養うことができるよう、支援していきたいと考えております。

要望 塩屋海岸の藻場は岸壁に囲まれているエリアで潮の流れも大きくないため、藻場として適切な場所です。神戸市としても積極的に後押ししていただき、Jブルークレジットに参加できるように支援していただくようお願いいたします。

中央区 のまち 圭一議員 ▶▶▶▶ 港湾局



ウィークエンドHANABIの拡充

のまち ウィークエンドHANABIを継続・充実させるため、民間企業や個人からの協賛金など新たな収入源の確保が必要ではないでしょうか?例えば、結婚式で花火を打ち上げるオプションなど、近隣施設と連携して収益力のある商品を作成することを検討すべきだと思いますが、いかがですか?

港湾局 ▶ 週末花火では既に、遊覧船の花火鑑賞クルーズやホテルの観賞プランなど、民間事業者と連携した特別商品が展開されています。また、公式サイトで共通ロゴの使用や連携プランを呼びかけており、多くの企業や飲食店から申請を受けております。今年度はふるさと納税や企業協賛にも取り組んでおり、今後も財源確保を進めてまいります。

中央区 三木 しんじろう議員 ▶▶▶▶ 交通局



エコファミリー制度について

三木 エコファミリー制度は、これまで土・日・祝日や夏休み、年末年始のみ利用できるものでしたが、2024年10月から365日利用できるように拡大されました。対象のバスの料金箱や地下鉄の自動改札機に「同伴する大人1人につき小学生2人まで無料」というステッカーを貼るなど、利用者へのさらなる周知を行う必要があるのではないのでしょうか?

交通局 ▶ エコファミリー制度は、子育て世代がマイカーから公共交通への転換を図ることを目的として導入されています。今後、より分かりやすい表示をしっかりと進めていきます。

エコファミリー制度とは:市バス・地下鉄の利用に際し、大人1人につき、同伴する小学生2人まで無料になる制度。\*大人とは、大人料金を支払う中学生以上の方が対象です。

須磨区 住本 かずのり議員 ▶▶▶▶ 経済観光局



六甲山登山安全対策について

住本 六甲山登山プロジェクトを進めるにあたり、山岳遭難等の安全対策についてはどう進めるのでしょうか?

経済観光局 ▶ 経済観光局安全対策の取組みについては、登山前の十分な装備ができていないかをホームページやポスターで注意喚起を行っている。また、道中に119番通報プレートを約800箇所設置しており、位置番号を知らせればそこに救助にくるという事も行っています。道迷いに関しても、建設局と消防局が連携して、多発する箇所については注意看板を設置、また、「YAMAP—登山地図GPSアプリ—」と連携してアプリ導入の啓発のポスターの作成をしています。

要望 先日六甲山中で須磨区の女性が遭難し、途中で携帯電話が繋がらなくなり連絡がとれない状況になった。全ての道中に携帯通信環境整備は困難にしても、山小屋Wi-Fi(Starlinkを活用した公衆Wi-Fiサービス)やFWA(固定無線アクセス)活用検討やYAMAPアプリ導入を強く啓発して安全対策を注意喚起してほしい。

須磨区 大井 としひろ議員 ▶▶▶▶ 地域協働局



地域福祉センターの若年層の利用及び活動参画の促進について

大井 地域福祉センターの管理について、基本方針が策定され、多様な世代、特に若年層にも使ってもらえるような施設にしたいということでもありますけれども、全市一律のルール化よりも、各センターの利用状況など実情に応じた対応が必要と感ずます。御見解をお伺ひします。

地域協働局 ▶ 基本方針策定に当たりましては、一方的にこちら側のルール押しつけにならないように、ふれまち協と意見交換を十分に重ねまして、地域の実情やふれまち協の意向をできるだけ反映した管理運営が行われるよう進めているところです。今後は、公の施設である地域福祉センターをもっと幅広く御利用いただくためには、誰にも分かりやすく透明性の高い制度設計が求められていますので、引き続き指定管理者であるふれまち協の意向も伺ひながら、より一層センターが有効に活用されるように、活性化につながるよう努めてまいります。

東灘区 外海 開三議員 ▶▶▶▶ 建設局



摂津本山駅・岡本駅の駐輪場について

外海 摂津本山駅・岡本駅の駐輪場は需要に対し収容台数が少なく、かねてより問題となっています。需要と供給が見合っておらず、逼迫した状況にあるこの地区においても、地下タワー式駐輪場を含む整備に積極的な取組を展開すべきではないでしょうか。

建設局 ▶ 摂津本山・岡本駅は駐輪場の収容台数の不足解消と公共空間の有効活用及び景観向上を目的とした駅前駐輪場整備戦略の対象駅としています。摂津本山駅は地下タワー式駐輪場、岡本駅は機械式駐輪場の整備検討も行いましたが、立地や建物の構造的な問題もあり現状難しい状況にはありますが、今後も引き続き、民間駐輪場の整備を業者を通じて促していくとともに、建設局として地下タワー式を含む駐輪場整備について検討したい。

東灘区 なんの ゆうこ議員 ▶▶▶▶ 文化スポーツ局



三宮再開発について

なんの 「三宮再整備」において、新設される「三宮図書館」などについて、茨木市の多機能複合施設「おにくる」のように、多くの人が集まる賑わいの拠点となるよう神戸市も目指すべきではないでしょうか、また利用ニーズの高いワーキングスペースや自習スペースについても検討すべきと考えますが伺ひます。

文化スポーツ局 ▶ 「三宮図書館」は駅前再開発ビル9、10階部分に広さ約2,000㎡、蔵書は約11万冊、席数約200席で整備を進めており、自習席設置についてもニーズに応えられるよう検討していきたいと考えています。同時に整備されるバスターミナルやホテルなどと連携し、市民や観光客など多くの人が集う賑わいの拠点となるようにしていきたいと考えてまいります。